

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 19 年 7 月 19 日 (2007.7.19)

【公表番号】特表 2003-506808 (P2003-506808A)  
 【公表日】平成 15 年 2 月 18 日 (2003.2.18)  
 【出願番号】特願 2001-516297 (P2001-516297)  
 【国際特許分類】

**G 0 8 C 25/00 (2006.01)**

**H 0 2 P 29/00 (2006.01)**

【F I】

G 0 8 C 25/00 F

H 0 2 P 5/00 T

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 5 月 17 日 (2007.5.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 電気駆動部の測定システムの監視装置であって、電気駆動部 (10) の少なくとも 1 つの測定量の検出用の少なくとも 1 つの測定システム (12)、少なくとも、前記測定システム (12) によって検出された測定量が供給されて、前記作動部 (10) の制御用の少なくとも 1 つの調整量を形成する少なくとも 1 つの調整器 (78) を有している装置において、  
 少なくとも 1 つの信号処理部 (34, 73, 79, 89, 91, 93) を測定システム (12) のエラー検出のために設けられている  
 ことを特徴とする装置。

【請求項 2】 測定システム (12) のエラー検出用の信号処理部 (34, 73, 79, 89, 91, 93) に、調整器 (78) によって形成された少なくとも 1 つの量 (I Q S O L L, I Q I S T, U Q S O L L, F U L L I S T, 65) が供給される請求項 1 記載の装置。

【請求項 3】 測定システム (12) のエラー検出用の信号処理部 (34, 73, 79, 89, 91, 93) に、前記測定システム (12) によって形成された、及び / 又は、当該測定システム (12) から導出した少なくとも 1 つの量 (a i s t) が供給される請求項 1 又は 2 記載の装置。

【請求項 4】 信号処理部 (34, 73, 79, 89, 91, 93) は、測定システム (12) のエラー検出のために、当該測定システム (12) のエラー時に特徴的な量を限界値 (G, n m o d e l l, n s e n s o r) と比較し、該比較に依存して前記測定システム (12) のエラーを指示するエラー信号 (35, 75, 92, 94) を形成する請求項 1 から 3 迄の何れか 1 記載の装置。

【請求項 5】 信号処理部 (34, 73, 79, 89, 91, 93) には、測定システム (12) のエラー時に特徴的な量として、駆動部 (10) のポールホイール電圧 (U p) の変化の尺度が供給される請求項 1 から 4 迄の何れか 1 記載の装置。

【請求項 6】 調整器 (78) により形成される量として、直軸電流調整器 (54) 及び / 又は横軸電流調整器 (48) で形成された信号 (65) 及び / 又は積分成分 (65) が信号処理部 (34, 73, 79, 89, 91, 93) に供給される請求項 1 から 5 迄の何れか 1 記載の装置。

【請求項 7】 限界値 (G) は、調整器 (78) の調整偏差に作用する少なくとも 1 つの区間パラメータに依存している請求項 1 から 6 迄の何れか 1 記載の装置。

【請求項 8】 測定システムのエラー検出のために、測定システムモデル (89) が設けられており、該測定システムモデルは、測定システム (12) で予期される少なくとも 1 つの評価値 (n model 1) を形成する請求項 1 から 7 迄の何れか 1 記載の装置。

【請求項 9】 切換スイッチ (93) は、エラー信号 (75) を信号処理部 (79) に、予期される評価値 (n model 1) に依存して伝送される請求項 1 から 8 迄の何れか 1 記載の装置。

【請求項 10】 信号処理部 (34) は、調整器 (78) により形成された量 (IQ SOLL) に依存して、及び / 又は、前記調整器 (78) によって形成された量 (IQ SOLL) が所定値 (IQ MAX)、有利には最大許容目標値となる場合に、活性化される請求項 1 から 9 迄の何れか 1 記載の装置。

【請求項 11】 信号処理部 (34, 73, 79, 89, 91, 93) は、比較器 (91) を有しており、該比較器 (91) は、エラー信号 (92, 94) を、測定システム (12) の出力信号及び予期すべき評価値 (n model 1) に依存して形成する請求項 1 から 10 迄の何れか 1 記載の装置。

【請求項 12】 選択装置 (93) が設けられており、該選択装置は、選択量に依存して第 1 のエラー監視部 (79) と第 2 のエラー監視部 (89, 91) との間で選択を行う請求項 1 から 11 迄の何れか 1 記載の装置。

【請求項 13】 選択装置 (93) は、予期すべき評価値 (n model 1) に依存して第 1 のエラー監視部 (79) と第 2 のエラー監視部 (89, 91) との間で選択する請求項 12 記載の装置。

【請求項 14】 測定システムモデル (89) は、評価値 (n model 1) を、調整器 (78) により形成されるか、又は、それに依存する少なくとも 1 つの調整量 (IQ SOLL, UQ SOLL, ID IST, FLUSS IST) に依存して形成する請求項 1 から 13 迄の何れか 1 記載の装置。